



2023年1月31日

各位

会社名 SMN株式会社
代表者名 代表取締役社長 井宮 大輔
(コード番号: 6185 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 鈴木 勝也
(TEL. 03-5435-7930)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年4月29日に公表しました2023年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,000	百万円 460	百万円 440	百万円 220	円 銭 16.62
今回修正予想(B)	11,700	10	△26	△136	△9.64
増減額(B-A)	△2,300	△450	△466	△356	
増減率(%)	△16.4%	△97.8%	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	13,363	127	90	△228	△17.44

2. 修正の理由

当社グループは引き続き成長が見込まれる国内インターネット広告市場において、主力サービスであるアドテクノロジー、マーケティングソリューションへの継続的な投資を実施し成長を目指しております。また、デジタルソリューションへの領域にも積極的に投資し、将来へ向けた企業価値の更なる向上を目指しております。

2023年3月期の経営方針として、アセット強化による事業拡大の基盤作りに向けた「データ連携の拡大」「アドテクノロジー・マーケティングソリューションの提供価値の拡大」「Cookieレス対応」「構造改革の完了」「デジタルソリューションの事業拡大/の立ち上げ」を掲げております。

上期はアドテクノロジー領域においては好調カテゴリの販売拡大が堅調に推移し、マーケティングソリューション領域においてはメディアデータを軸としたソリューション事業の売却の実施により収益力回復を進めたものの、デジタルソリューション領域においてルビー・グループ株式会社の減収、代理店事業における大型アカウントの失注の影響があり、当初予想を下回り、連結売上高は前年同期比199百万円減で推移いたしました。

アドテクノロジー領域においては、特徴あるデータを持つ事業者が当社の広告配信プラットフォームを活用して独自DSPを立ち上げることができるサービスを強化し、デジタルソリューション領域においては株式会社ASAが海外事業の拡大に向けた海外事業所の開設を進めてまいりましたが、当該施策の一部について進捗や効果発現に遅れが発生していること、加えて引き続き上期と同様の影響等もあり、下期も当初予想を下回り、連結売上高は前年同期比1,463百万円減の見込みとなりました。また、通期連結売上高は前年同期比差異と同様の要因により前回発表予想に比べて2,300百万円の減少を見込んでおります。売上原価、販売費及び一般管理



費は前期比1,545百万円の削減を見込んでおりますが、売上高の減少の影響で営業利益が450百万円、経常利益466百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が356百万円減少する見込みとなりました。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表予想を下回る数値となる見込みであるため、業績予想を修正するものであります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上